日程 平成 29 年 12 月 9~10 日 (富士山)雪上訓練

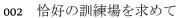
撮影者 田口

12/9 秋葉原・荻窪=馬返し-佐藤小屋-六合目-雪上訓練場-佐藤小屋(泊)



001 吉田口登山道

標高 1,430mの馬返し駐車場で集合、冬晴れの凛とした大気に包まれた、富士山講の長い歴史のある樹林帯の山道をゆっくり2,230mの佐藤小屋目指し登っていく。朽ち果てた浅間神社や廃墟となった茶屋が往時を偲ばせる。



五合目の佐藤小屋は文字通り、天と地の境。小屋の上は森林限界を越え、わずかな灌木と一面の火山礫の世界が広がる。ヘルメット、ハーネス、ピッケルなど訓練装備を整え、深々とした雪面を求め、新雪の積もった登山道を行く。



003 まずアイゼン歩行から

六合目付近で手ごろな**20** 度程度の緩斜面の吹き溜まりで訓練をすることに。リーダーの懇切な解説を聴き、ピッケル操作、アイゼン歩行からスタート。



ピッケルを使った滑落停止、ロープワークのあと、隣の硬めの斜面でアイゼン歩行、滑落停止の復習。身体を横たえ、素早く身体を回転させ、ピッケルのピックを雪面に突き差し、両膝下を上げて停止する動作を繰り返し練習。



005 影富士

訓練を終え、下山開始。鮮やかなブルーの水を湛える山中湖が望める。下山路から山中湖方面に巨大な富士山の黒い影が映る。初めて目にする「影富士」に興奮。15 時を過ぎると早くも冷たい風が吹き付けてくる。



001 朝焼け

下弦の月が浮かび晴れ渡る空のもと、未明に佐藤小屋を発 ち、六合目で朝日を望む。相模湾から丹沢、奥多摩、奥秩 父、八ヶ岳、北アルプス、南アルプスと、素晴らしい眺望 が味わえた。

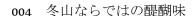
002 七合目付近の岩場

六合目は雪もあまりない火山礫で埋め尽くされた幅の広い 夏道を歩く。七合目辺りからは傾斜も増し、新雪の付いた 岩場の道に変わる。昨日の訓練のポイントを思い起こしつ つ、ピッケルを支えに、アイゼンを引っかけないよう、注 意を配りながら、登りつめていく。



003 赤い鳥居の下で

急な傾斜の道を登り、遥か上に見えた本七合目の赤い鳥居が目印の山小屋、鳥居館にようやく到着。標高 2,900mの今回の最高地点だ。小屋には風紋の付いた雪が吹き溜まっていた。時折強い風の吹くなか、絶景を楽しみ、下山。



花小屋脇から雪に埋もれた吉田大沢を下る。膝下までズブッと沈む、傾斜のついた広い雪面を佐藤小屋上の六角堂目指して降りていく。視線は遠くにおき、バランスを崩さないように注意。冬山ならではの野趣に富んだ素晴らしいウォーキングを楽しめた。





005 雪煙舞う、時々、ブリザード風

吉田大沢では何度も強風に見舞われる。耐風姿勢をとるほどではないが、上から叩きつけるような雪交じりの風が襲ってくる。さすがに富士山である。短時間とはいえ、ブリザードのごとき烈風だ。大沢を六合目まで下り、昨日の訓練場の脇を経由して、山中湖、河口湖、御坂山地、遠方の山々の風景を眺めつつ、佐藤小屋に向かった。